

● 杉原千畝への感謝、「命のビザ」証言の映像を八百津町に寄贈 ●

5月10日、第2次世界大戦中、ユダヤ人の尊い命を救った元外交官 杉原千畝氏への感謝の気持ちや、当時「命のビザ」で助けられたユダヤ人のほか、子孫の7家族15人の証言などを、当時の



DVDを手渡した高橋文さん(右から4人目)

写真やインタビューを交えて制作された映像「スギハラ・チウネへのメッセージ」が町へ寄贈されました。

今回、映像を寄贈したのは、企画・制作をした高橋文さん(カナダ在住)と服部節子さん、「命のビザ」により救われたユダヤ人の息子のジョージ・ブルマンさんと別のユダヤ人の娘のデボラ・ロスさんとその夫です。

町では、30分程度のダイジェスト版を作り、杉原千畝記念館で映像を流したり、町内の小中学校で上映会を開く予定です。

● 学校茶園でお茶摘み(錦津小学校) ●

5月16日、錦津小学校で全児童135名によるお茶摘みが行われました。

お茶摘みは、今年で17回目になります。

茶園は、学校の南側斜面に5aほどあり、毎年収穫したお茶は、お茶会で賞味をしたり、児童宅へ持ち帰ったり、子ども110番の家や交通安全ボランティアのみなさん、指導していただいた地域のみなさんや交流のある愛知県の篠島小学校へ贈ったりしています。

今年取れた茶葉は約30kgあり、その内の約10kgを6年生の28名が、体育館内に広げたむしろの上で茶もみをしました。



慣れない手つきでお茶を摘む児童ら

● 「キリン水源の森づくり」開催(笹池草地) ●



名古屋の高層ビル群などを背に作業するみなさん

5月18日、キリンビール(株)名古屋工場が所在する地域の水源である木曾川上流地域(八百津町久田見)の森林において、グループ会社の社員とその家族、地域住民ボランティアなど約240人が参加し、「キリン水源の森づくり」事業を実施しました。

今年で6回目を迎え、参加者は約1haの斜面に広がり、山からの涼しい風に当たりながら若木が育ちやすい環境を整えるため、伸びた雑草を刈り取ったり、遊歩道に木のチップを運搬し、敷きならしました。